



白つばき  
画・加納忠

発行／

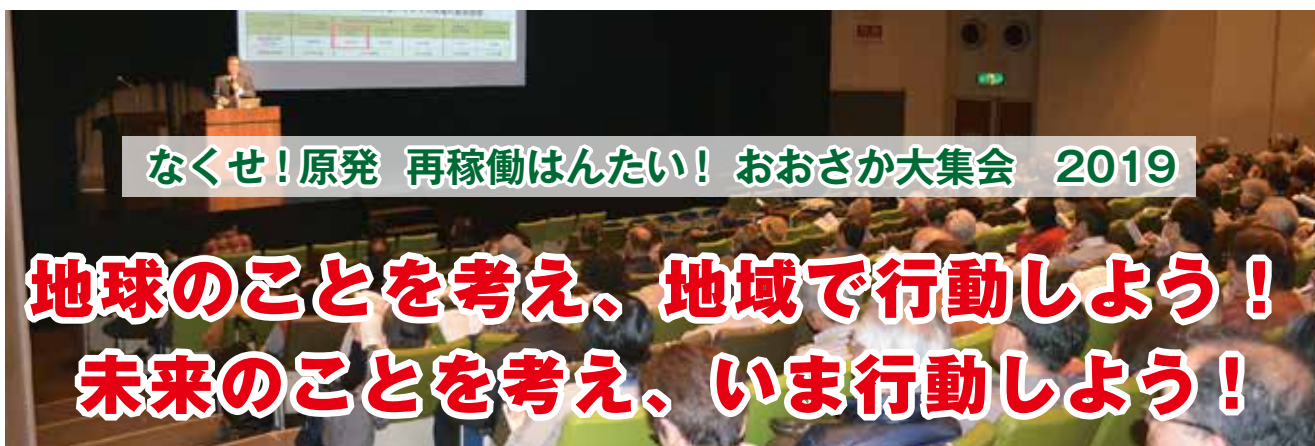
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121

E-mail: oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円



なくせ!原発 再稼働はんたい! おおさか大集会 2019

## 地球のことを考え、地域で行動しよう! 未来のことを考え、いま行動しよう!

3月10日(土) 原発ゼロの会・大阪主催“なくせ!原発 再稼働はんたい!おおさか大集会 2019”が開催され500名が参加しました。

午前中は、「自然エネルギーを推進しよう!活動交流会」が開催され、太陽光発電の活用例、木質バイオマスの取り組みの展示、府の補助金制度を活用した市民共同発電所設立までの紹介、和歌山メガソーラー・大規模風力発電問題、神戸製鋼巨大石炭火力発電所の建設と稼働の差止めを求める活動の報告等がありました。

午後からは、記念講演「どうつくる? どう進める? 自然エネルギー～地域・市民みんなが普及の担い手に～」のテーマで和田武さん(和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会代表)よりグリーンランド

や南極の氷床の大規模崩壊や異常気象等が温暖化の進行による不可逆的破壊(回復不可能な破滅)で、地球温暖化防止は待ったなしの状態。最近の世界動向の特徴は原発停滞、再生可能エネルギーは途上国で急増し、市民・地域主導による再生可能エネルギー普及が増加、地域社会の自立的発展等、CO<sub>2</sub>削減やリスク軽減、将来性ある産業発展と創出等社会的影響をもたらし、企業による再エネ100%運動が広がっている。しかし、日本のエネルギーは原発に頼り再生可能エネルギーの普及促進が進んでいない状況、日本でも市民・地域主導による再生可能エネルギー普及で地球温暖化防止と地域発展が進む持続可能な社会を目指すことが大切だと報告されました。報告を聞き「原発ゼロ」「自然エネルギー」への国民の声をあげていこうと思いました。

「“自然エネルギー100%のおおさか”への提言(大阪府民エネルギー政策)」について、中村毅さん(エネルギー部会)より、政府が進めていた原発輸出計画が完全に破綻し

ており、世界の潮流は脱原発、自然エネルギー100%に向けたエネルギーにシフトしていることは疑う余地なし。政府の時代錯誤は隠しようもない。私たち市民の手で自然エネルギーにシフトを大いに進める上で、この「提言」を力にしてほしいとの訴えがありました。提言書は、府民目線で作られていて、市民・行政の協働と支える行政の役割や必要な知識がわかりやすく読んでみようと思いました。この提言書は教科書です。

リレートークでは、福島からの避難者のお話や各地の「ゼロの会」の取り組みの報告がありました。集会后、参加者は大阪市役所まで雨の中、元気に「原発反対」とアピールをしながら行進しました。

(岡田安代)

